

## 学会参加奨励金報告書

学籍番号：R22-023

名前：乙須 さくら

学会名：KIMES2025

開催場所：韓国（ソウル）

開催期間：2025. 3. 20～2025. 3. 23

発表セッション名：なし

発表形態：なし

発表日時：なし

### 1. 発表の概要

なし。

### 2. 質疑応答内容 他

なし。

### 3. 関連発表の内容

なし。

### 4. 学会参加の感想

会場が大きく、全て回ることはできなかったが、今回は発表と機器を見ることができた。機器の展示では Samsung の超音波の機器についての説明を聞くことが出来た。範囲の設定を AI が行ったり、脂肪肝における肝腎コントラストを自動で算出したりと AI による技術やイメージングが多いという話を聞いて、日本でも AI を使用した技術の話をよく聞くため全世界で AI を活用していく方法が増えているのだと分かった。他にも、胸部から下肢までの大きさの検出器があり、想像を超えるものが世の中には出来ていることに驚いた。そこで質問可能なタイミングで質問が出来なかったことは後悔が残った。全体を見て回った感想としては、体感だが学校や病院で見るモダリティと比較してタッチパネルが大きいものが数多く見られた。一般撮影の機器や外科用移動型 C アームにおいても操作パネルが大きく操作しやすいようになっていた。モダリティ以外にも X 線管球などの部分ごとの展示も存在し、歩いているのみでも充実感があった。

発表はイメージングの話からモダリティの話まで多岐に渡った。タスクシフトにおける教育についての発表もあり数学的な結果だけでなく心理的な部分の研究結果についても聞けて研究には様々な視点からのアプローチが存在すると理解した。内容を発表のみで完全に理解することは難しかったが、部分的に理解できる点も存在した。皆さんのスライドも多種多様で勉強になる所があった。日本の方の発表者も多く、当たり前だが英語で発表しているところを見て尊敬の念が生まれた。また、質

疑応答をあまりしたことがなく、日本語でも質問に対してうまく答えることが難しい中で英語を使って返答しているところを見て、私は質問内容を理解することさえできなかったこともあり、英語をさらに勉強したいという気持ちが湧いた。やはり言語を習得することは学びを広げ、これまで以上に広い知識が得られる手段であると再認識した。そして、これまでは学会での発表や研究について興味が多く無かった。しかし、今回の学会に参加して簡単ではないが自分もこのような舞台に立ってみたいという興味が湧き、非常に良い機会となった。

6. 現地参加がわかる写真(4枚)

